

2022年9月30日～10月2日 涸沢・奥穂高岳

メンバー：L岩田、小嶋、（会員外）濱、有賀

快晴の秋の日、北アルプス奥穂高岳に涸沢テント泊で登りました。

今年の夏は土日ごとに雨が降り、中止や日程短縮の山行が続きましたが、ここで驚きの3日間完全快晴。紅葉には少し早かったですが、日本3位からの展望、満点の星、池に映るモルゲンロート、1000のテントの明かり、山小屋でのソフトクリーム、そして生ビール すべて堪能できた山行でした。

【コースタイム】

1日目

上高地 BT 7:20  
涸沢ヒュッテ 14:00

2日目

涸沢ヒュッテ 5:00  
穂高岳山荘 7:50  
奥穂高岳 9:15-10:20  
穂高岳山荘 11:00-11:45  
涸沢ヒュッテ 14:00

3日目

涸沢ヒュッテ 6:50  
上高地 BT 13:15

～1日目～

6時過ぎ沢渡バスターミナル着。バス待ちの長い列に並ぶ。今回の山行は秋の紅葉シーズンの晴れが予想される土日の人気の涸沢テント泊。混雑を想定しての山行だが、先が思いやられる。6時30分のバスに乗れた。

上高地から横尾山荘まではなだらかな道をワイワイと話しながら歩く。横尾から登山道に入り、登りがきつくなるがゆっくり、休憩を取りながら歩みを進める。2泊分のテント泊装備のため、ザックが重く疲れたが、全員元気で涸沢着。

涸沢は噂通りの混雑。少し道から外れたところに3張りのテント場を見つけ、テントを張る。石の多い場所だがエアマットを敷くと意外に凹凸が問題なく、普通に寝ることができた。

問題はビール渋滞。ビールを買うのに30分程度(?)並んだ。しかし、そんな時間はゲットした生ビールで全く問題なし!乾杯でこれまでの疲れは吹っ飛んだ。

この日のテントは600張り。まだ余裕がある感じ。夜は涸沢小屋から少し北穂方面へ登ったあたりで星を見る。天の川もくっきりの素晴らしい星空だった。

～2日目～

3時30分起床でまだ暗い中、奥穂へ向かう。中腹で日の出。このあたりが最も紅葉している。(写真1) ザイテングラードから穂高岳山荘へ。ザイテングラードでは、この次の日にも滑落事故があった。当日も落石があり、細心の注意を払いながらゆっくり登る。穂高岳山荘から見上げる登山道はほぼ垂直に見える。休憩で体力を回復し、余分な荷物は小屋にデポして壁に挑む。無事クリアし、山頂へ。山頂では記念撮影渋滞に気合で並ぶ。

(写真2) (写真3) 下りは特に危険なので、慌せずに小屋でゆっくり休憩し、涸沢まで下山。(写真4) 無事涸沢小屋まで着いたところでほっと一息、生ビールとソフトクリームの誘惑には勝てなかった。(写真5)

～3日目～

夜テントの数が1000張り越え(横尾で山岳救助隊の方に聞いた)のため、トイレが心配だったが、3時30分起きですぐに向かうとあっさり並ばずに個室へ入れた。この日のメインはモルゲンロート。涸沢泊の全登山者が見守る中、奥穂、涸沢岳が赤く染まっていく。(写真6)

赤い山を目に焼き付けた後、テントをたたんで下山。涸沢の登山者全員が同じ行動をするため、下山路は大混雑。涸沢から横尾まで下りの登山者がつながっているような渋滞だ。このタイミングで登る登山者はとてもかわいそうだった。

河童橋まで帰り、岳沢を見上げると昨日登った奥穂がそびえる。昨日自分がいた場所だと思えば、とても身近に感じられ、心に残る景色となった。(写真7)

写真1 紅葉と日の出



写真2 山頂にてポーズ



写真3 山頂からの槍ヶ岳 次は鎗だ！（小嶋）



写真4 涸沢のテン場 この日 1000 張り越え

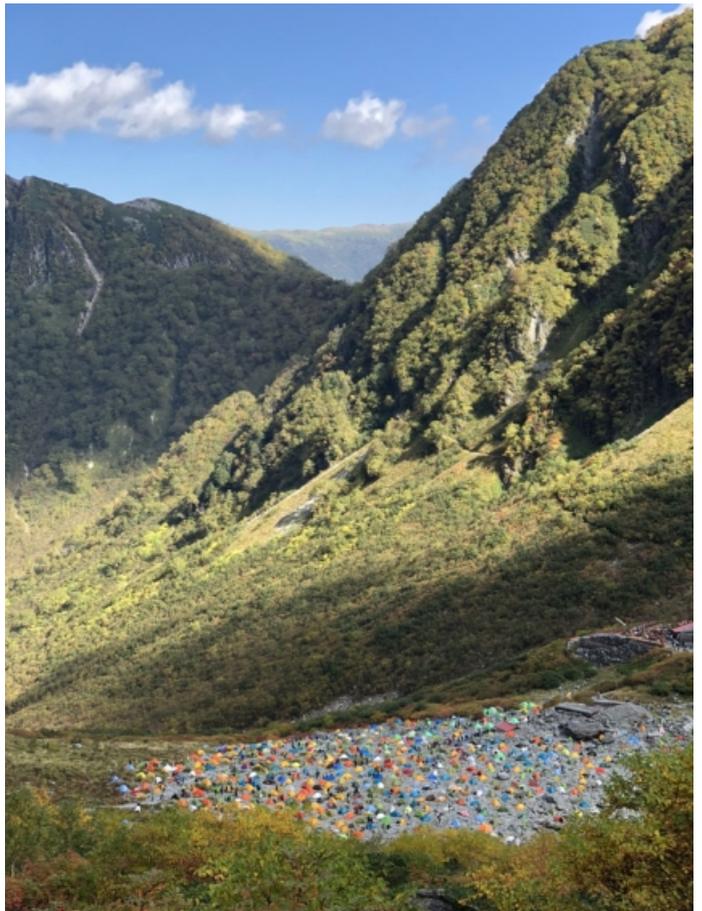


写真5 涸沢槍 夕方は雲が出ていい感じに



写真6 奥穂高岳のモルゲンロート



写真7 心に残る河童橋からの穂高岳

